

個人質問

30人の議員が行った質問の中から、いくつかを取り上げて要旨を掲載

全員の個人質問は市議会ホームページのインターネット議会中継で配信しています。

観光・まちづくり・文化 Tourism Community Planning Culture

効果的なプロモーションで
外国人の観光誘客を促進

問 宿泊者数の推移など、本市のインバウンド（訪日外国人旅行）の現状と課題は何か。

答 海外での現地プロモーションや、各種ツールを活用した情報発信を行ってきた結果、外国人延べ宿泊者数は、平成26年の38,301人から30年の144,286人へと増加し、岡山後楽園、岡山城、吉備津神社への訪問が多い。

滞在時間の延長や認知度の向上が課題と考えられるため、今後は体験型メニューとナイトライフの充実を図るとともに、各ターゲットに合わせた効果的なプロモーションを行い、さらなる観光誘客につなげたい。



岡山城のプロジェクションマッピングのイメージ

プロジェクションマッピングで
令和の幕明けを岡山城に投影

問 納涼花火大会の代わりに令和元年8月2日、3日に「鳥城夏まつり」を開催し、岡山城でプロジェクションマッピングを行うが、どんなテーマか。

答 日本遺産に認定された「桃太郎伝説」や、5月の改元にちなみ、新しい時代の夜明けをテ

ーマとした「令和の幕明け」などを花火でお祝いする映像を投影していきたい。

なお、2年度以降の花火大会の開催については、岡山商工会議所内で検討中で、年末ごろを目途に方向性を導き出す予定と聞いている。



ウエストサイドカーニバルの
コンベンションセンター会場ステージ

岡山駅西口の活性化事業で
日本遺産のモニュメントを設置

問 西口活性化協議会ではどのような議論が行われ、どのような事業を計画しているのか。

答 地元の団体・企業で構成されている西口活性化協議会では、地区の活性化に向けて幅広く意見交換をするとともに、岡山駅西口周辺の店舗等を紹介したマップの作成や、フリーマーケット、ウエストサイドカーニバル等のイベントを実施している。

また、本市が西口活性化協議会や駅西地区まちづくり協議会と議論した結果、西口が吉備路への出発点であることから、令和元年度は日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」をコンセプトとしたモニュメントの設置を計画している。

岡山城エリアの整備方針

3年度末までにとりまとめ

問 岡山市都心創生まちづくり構想に示されている、岡山城主要部エリアの方針に変わりはないか。また、整備方針策定までのスケジュールは。

答 岡山城本丸の保存整備、歴史を学ぶ場・市民の憩いの場としての空間づくり、カルチャーゾーン全体の回遊性向上、観光地としての魅力アップなどを基本的な考え方とし、岡山城主要部では歴史資産を生かした公園の整備を目指すこととしている。

この構想のもと、旧内山下小学校跡地、岡山市民会館、旧NHK跡地について、必要な機能や整備費用等の調査を行っており、令和元年度中に基礎調査を終え、3年度末までに整備の方針をとりたい。

さまざまな意見を踏まえ
芸術創造劇場の使用料金を決定

問 市民の文化団体が利用しやすい料金設定が必要ではないか。また、今後の料金の検討スケジュールは。

答 充実した舞台設備や行き届いた技術サービスを提供するため、現在、他都市の事例なども参考に使用料金の案を示している。今後、現施設の利用者ニーズや新劇場の運営・維持管理コストなどの検証を行い、新劇場の運営に係る収支バランスなども総合的に勘案し、決定する。

令和元年8月の意見交換会を皮切りに、年末までに市民団体へのヒアリングなど、さまざまな場面で意見を聴取していく。

暮らし・産業

Life
Industry

女性活躍支援セミナー

ロゴマークで

男女共同参画が見える化

問 本市では「女性が輝くまちづくり事業」を推進しているが、令和元年度はどう取り組むのか。

答 女性活躍やワーク・ライフ・バランスをテーマとするシンポジウム会場で、地元企業の取り組みを紹介するブース展示を新たに行う。さらに、「※⁵岡山市女性が輝く男女共同参画推進事業所」のロゴマークを作成し、市認証の企業に使ってもらい、取り組みの見える化を図る。

また、女性の再就職支援セミナーでは、より実践的な内容となるよう、インターンシップを合わせて実施する。

太陽光発電事業による
環境への影響に意見を

問 平成31年4月から岡山市環境影響評価条例が施行されたが、足守地区の大規模太陽光発電建設計画への対応がどう変わるか。

答 本条例は太陽光発電事業を対象に加えたため、林地開発許可の申請に先立って環境影響評価の手続きが必要となった。

事業を規制するものではないが、住民は環境への影響やその対策に対して意見を述べる事が可能となる。市は環境への影響が懸念される場合、住民や専

門家の意見を踏まえ可能な限りの環境保全措置を実施するよう事業者に対して意見を述べる事ができるようになる。

最先端技術の導入で
事務の効率化を進める

問 AIや※⁶RPAなどを自治体の施策に導入する取り組みが広がっているが、本市の状況は。また、検討中の分野はあるか。

答 AIを活用した健康見える化の事業では、医療データや健診データを解析し、一人ひとりに適した生活改善メニューを提示する取り組みを進めている。RPAは研修を実施したところであり、今後、導入に適した業務の検討を進めたい。

また、令和元年度は浜松市、相模原市と合同で、総務省の「自治体行政スマートプロジェクト」に参画し、ICT技術を活用して、在留外国人の転入手続き事務が円滑かつ効率的に実施できるか実証実験を行う。

水道事業の基盤は安定しており
民営化の必要は感じない

問 平成30年11月定例市議会で「当分は民営化せず今の体制で行く」と答弁した市長の真意は。

答 水道事業の民営化の議論は、人口が少ない地域でどう合理的に水道事業を運営していくか、という視点から出てきたと承知している。

本市の水道事業は、約350人もの職員が携わる大きな組織であり、年間約10億円の黒字となっている。現在の基盤が確保できている限り、民営化への移行はないと考えている。

築港新町にバス乗換拠点の
設置を提案

問 岡南地域から南区役所や南ふれあいセンターへ向かうバスがなく、不便に感じている人が多い。交通手段を考えていくべきではないか。

答 本市は(注)幹事会で、大型商業施設がある南区築港新町に乘換拠点を設置し、小串・鉾立方面と上山坂方面のバス路線を拠点までの運行とすることで、生み出される余力を増便や、労災病院、南区役所への延伸に活用する案を提示している。

現在、再編の実現に向けた課題や対策をバス事業者と協議しており、南ふれあいセンターへの延伸も、ニーズを確認しながら検討していきたい。



市営墓地の無縁墓を調査

問 お墓を引き継ぐ人が途絶え、管理する人がいない無縁墓が増加する問題が起きているが、市営墓地での状況は。また、区画の過不足などの現状は。

答 平成30年度から無縁墓地調査事業に着手しており、まずは令和2年度末までの計画で、東山地区の市営墓地の無縁と思われる墓地について、現状把握を行っている。

区画の過不足は、毎年5月に空き状況調査を行っており、元年度は283区画の空き墓地が確認できた。このうち使用可能な墓地は、公募等で使用者を募集する予定。

◆用語解説 ※5【岡山市女性が輝く男女共同参画推進事業所】

女性の活躍推進や仕事と家庭の両立支援など、職場における男女共同参画を推進している市内の企業等を岡山市長が認証するもので、就職面接会等でPRチラシを配布してもらったり、低金利融資制度の利用などが可能となる

◆用語解説 ※6【RPA】(Robotics Process Automation)

これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化すること

福祉・安全

Welfare
Safety

使用禁止となっている遊具をできるだけ元年度中に修繕

問 公園遊具の今後の修繕計画は。また、撤去する遊具が出た場合、新しい遊具に変更していくのか。

答 修繕ができていない約600基の遊具について、更新も含めて修繕方法を検討し、全体でどのくらい費用がかかるかを算出中であり、できるだけ令和元年度中に修繕を実施し、安全に利用できるようにしたい。

ただ、新しく替える必要がある遊具もいくつかあり、必要であれば補正予算も検討したい。



使用禁止のテープが貼られた公園遊具

豪雨災害に備え

農業用排水機場の運営を見直し

問 排水機場の情報連絡体制の強化、水位情報を得る手法のマニュアル化、管理規定の見直しについて、検討の結果は。

答 各排水機場や水利システムを含めた連絡網等を作ることが求められているが、不十分な地域もあるため、今後見直し等に取り組んでいきたい。

マニュアル化は、※7 おかやま防災ポータルを使った情報収集の方法を分かりやすく記載し、排水機場や関係者に配布する準

備を行っている。管理規定は、作成から時間が経過しており、見直しが必要な箇所は更新していく。

路肩拡幅工事で安全対策

問 笹ヶ瀬新橋で発生した、高校生がトラックに接触して重傷を負う事故を受けて、橋周辺の安全対策はどのようになるのか。

答 最近の聞き取りで、約200人の高校生が自転車通学で利用していると聞いている。橋梁の取り付け部は路肩が狭く勾配があるため、自転車通行が危険との指摘もあり、優先して対策を開始している。北側取り付け部は、令和元年6月末には路肩の拡幅工事が完了予定で、南側も元年度に工事に着手する予定。

公用車にドライブレコーダーを

問 職員の安全運転意識や運転マナーの向上を図るとともに、事故の際の事後対応や責任の所在を明らかにするため、公用車にドライブレコーダーを導入すべきではないか。

答 緊急車両の消防車や救急車には相当数のドライブレコーダーを設置しているが、他の公用車は、平成27年の岡山市情報公開及び個人情報保護審査会の答申で、個人情報の管理における安全性を理由に利用が認められなかった。

ただ4年が経過し、ドライブレコーダーの記録映像の有効性が増しており、また、個人情報漏えい防止機能が付いた機種も開発されているため、審査会へ再度諮問し、設置に向け取り組んでいきたい。



保健福祉会館4階にある
ひきこもり地域支援センター

中高年層のひきこもり問題に支援センターの活用を

問 本市のひきこもり地域支援センターが扱った相談件数や対象年齢は。またセンターの存在を広くアピールする考えは。

答 平成30年度の電話相談は延べ2,287件、来所相談は1,032件、訪問件数は440件。人数は全体で238人で、うち40代が36人、50代が2人だった。しかし、相談に来ていないことで隠れている問題も多いと思われる。

センターの周知を図るためパンフレットも作成しているが、ひきこもりについて本市としてどんなことが考えられるのか、アンテナを高くしていきたい。

不育症の実態把握に努め情報発信や専門窓口を紹介

問 不育症の方のために助成制度を創設しては。また、相談窓口、セミナーや交流会の開催など、どう取り組むのか。

答 妊娠はするが2回以上流産や死産をする不育症は、原因も多岐にわたり、治療の負担も一様でない。今後、実態把握に努め、助成について何ができるか検討していく。

また、医療機関や市のホームページで不育症に関する情報発信を続けており、相談があれば岡山県の「不妊・不育ところの相談室」を紹介している。

(注)

岡山市公共交通網形成協議会幹事会

◆用語解説 ※7【おかやま防災ポータル】

岡山県総合防災情報サイト。県内の気象情報（注意報・警報、気象レーダー等）、雨量情報、土砂災害危険度情報、河川水位情報、河川カメラ情報等をリアルタイムで確認することができる